

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No2	現状はまだ地域との交流があまりなく、地域密着型であるグループホームの強みを生かせていない。	利用者や職員、または事業所が地域の一員として活動・生活し、情報の交換やふれあいの場として活用できるようにしていく。	地域で行われている行事などの情報収集をし参加したり、ボランティアなどの訪問を呼びかけ、施設のイベントとして組み込んでいく。	6ヶ月
2	No4	運営推進会議において、民生委員や自治会役員などの参加、家族の出席などが無い。	地域の方や家族が会議に出席することで多くの情報を共有し、多角的な意見や要望を取り入れる事ができるようにする。	民生委員や自治会役員、家族の出席が得られるよう電話やハガキなどで働きかけをしていく。	6ヶ月
3	No12	年度目標の設定や一年の振り返り・反省などが行われていない。	年度目標を設定し職員のモチベーションとし、振り返りで得た反省点を次の一年に生かしていく。	今年度は目標設定がなかったが職員個人・全体で振り返りをして良かった点、反省点を見つける。来年度の目標についても個人・全体で設定していく。	1ヶ月
4	No12	職員個々の面談の実施が出来ていない。	職員個々の話を聞き、悩みの改善行い、意見や要望を施設運営に生かしていく。	年に3、4回機会を設け個人面談を実施する。	12ヶ月
5	No13	新人の入職に伴い、職員個々の介護技術や知識の不足がある。古参の職員にはモチベーションの低下が見られる。	全職員が一定水準の介護技術や知識・倫理観を身に着け、利用者が安心して暮らせるようにする。	事業所での丁寧な指導を行う。法人内外でもっとも必要と思われる研修を実施していく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。